

こんな受診をしていませんか？
医療費、余分にかかっているかも…

■重複受診

同じ病気やけがで複数の医療機関を受診すると、医療機関を変えるたびに初診となるため医療費が安くなりません。また、問診・検査・処置が繰り返されるため、体に負担がかかり、治療期間が長引く可能性があります。

■医療機関の診療時間外に受診

日曜・祝日や深夜(午後10時～午前6時)の受診は加算金が発生するほか、改めて診療時間内に受診が必要になる場合もあります。また、薬を調剤してもらおうときも薬局の営業時間外は割高になります。

■紹介状がないまま大きな病院を受診

紹介状がない状態で大きな病院を受診すると、初診料が高額になります。また、大きな病院は患者も多いため、待ち時間が長くなる半面、診療時間は短くなる可能性もあります。さらに、重篤な患者や救急医療への対応が遅れる可能性も出てしまいます。

自分の健康と地域医療を守るため、急病でない場合は診療時間内にかかりつけ医を受診するよう心掛けましょう。

【問い合わせ】地域医療対策課(☎41-3590)

地域おこし協力隊が退任します

令和5年4月に着任した宮川裕輔隊員が、3月31日付で退任します。退任する宮川隊員にこれまでの活動の振り返りを聞きました。



▲丹精込めて育てたブドウは、やっぱり美しい



▲さまざまなイベントで大迫のブドウをPRしました

美しく広がる大迫のブドウ園の風景が、大学時代に訪れたイタリアで出会ったブドウの美しさと重なり、この地で技術を学びたいと決意して愛知県から移住しました。

葡萄が丘農業研究所での研修を通じて、商品としてのブドウ作りに重要な、病害虫の防除や獣害への対策方法を学びました。昨年は畑を借り、自分で育てたブドウを出荷したり、ブドウ狩りを受け入れたりと貴重な経験をすることができました。また、地域のイベントや祭りなどにも参加させていただき、地元の人々の熱い郷土愛に触れることもできました。

今後は農業関係の仕事に就き、大迫やブドウの魅力をより多くの人に伝えていきたいと思えます。未熟な私を温かく迎えご指導いただいた皆さん、ありがとうございました。

市民生活コーナー

引越直後の訪問販売に注意！

■どんなトラブルがあるの？

○引越当日、換気扇フィルターの販売業者が訪れた。管理会社と関連があるような口ぶりです。このアパートの入居者は全員購入している」と説明され、2万円でフィルターを購入したが、その後、管理会社に確認すると、訪問してきた業者とは無関係であること

○引越直後、管理会社から紹介された名乗る業者が訪問してきて、水回りの防カビサービスを勧められ

管理会社からの紹介という言葉を信じ契約した。後日管理会社に確認すると「そんな会社は知らない」と言われ、だまされたことが分かったので解約したい

○業者から訪問を受けて契約した場合、契約書面を受け取った日から8日以内であればクーリング・オフ(無条件での契約解除)制度の利用が可能です

■困ったときは？
○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

とが分かった

○引越直後、管理会社から紹介された名乗る業者が訪問してきて、水回りの防カビサービスを勧められ

管理会社からの紹介という言葉を信じ契約した。後日管理会社に確認すると「そんな会社は知らない」と言われ、だまされたことが分かったので解約したい

○業者から訪問を受けて契約した場合、契約書面を受け取った日から8日以内であればクーリング・オフ(無条件での契約解除)制度の利用が可能です

■困ったときは？
○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

はなまき 環境だより 第27回

再生可能エネルギー ~地中にある熱の利用~

再生可能エネルギーとは、自然由来の繰り返し使うことができるエネルギーのことで、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減と、エネルギー自給率の向上に貢献する持続可能な資源です。太陽光や水、風などのエネルギーによる発電はよく知られていますが、「熱」もエネルギーとして利用されています。

熱のエネルギーの一つに「地中熱」があります。地中熱は、地下約10〜200mの深さにある比較的温度の低い熱で、年間を通じて温度がほぼ安定しているという特



徴を生かし、冷暖房や冬季の融雪などに使われています。

本市では、宮沢賢治記念館に続く坂道で地中熱を融雪に活用しています。これは、地中に埋め込まれた管の中に不凍液を循環させる仕組みで、地中熱で暖まった不凍液の熱を路面に伝えることで雪を溶かしています。



▲宮沢賢治記念館に続く坂道の融雪の様子

このほか、道路の融雪には「地下水の熱」を利用する方法もあります。地下水をポンプでくみ上げて舗装に埋め込まれた管へ送り、地下水の熱を道路へ放出させることで雪を溶かします。その後、地下水を再び地中へ戻すことで、持続的な利用が可能です。地下水の熱を利用した融雪はコストが抑えられるというメリットがあり、鍛冶町の中央橋近辺や花巻駅付近などの坂道で、冬季の安全安心な通行のために活用されています。

地中熱について詳しくは、環境省の「地中熱ポータル」をご覧ください



市内企業紹介

花まき❖いいモノ・いいコト

株式会社デンロコーポレーション

◎東北ガルバセンター情報
北湯口18-26-17
☎27-5501



①デンロコーポレーション東北ガルバセンター外観②溶融亜鉛めっき加工の様子③総合体育館玄関の柱など、市内の見慣れた場所に同社が加工した製品が使用されています

(株)デンロコーポレーションは、平成14年、花巻第二工業団地に「東北ガルバセンター」を立地した企業です。同社は全国で「プラント」「鉄構」「めっき」の三つの事業を展開しており、同センターでは「溶融亜鉛めっき加工」を行っています。鉄と亜鉛が合金反応で一体となることで、長期にわたって防錆効果が続きます。この加工で、鉄は「錆びない」「腐食しない」「環境と調和する」新たな素材へ生まれ変わります。

同センターは、東日本最大級のめっき槽を保有し、大型製品の加工が可能です。加工した製品は、鉄塔、鉄道橋梁、道路の防音壁など、幅広く社会の建造物に使われており、私たちの暮らしを支えています。

プラント(生産設備・製造設備)メーカーの強みを生かし、生産力のみならず品質・技術などあらゆる面を向上させ、同センターを溶融亜鉛めっき加工の学術的・実業的な中心地にする取り組みを進めています。



市ホームページ

*市ホームページでは、より詳しい情報を掲載していますのでぜひご覧ください